

公益社団法人 経済同友会「学校と経営者の交流活動推進委員会」主催

第12回教育フォーラムのご案内

「～勉強するのは何のため？
働かってどういうこと？～」

日時：3月17日（土）13:00～17:00

受付開始12：10～

（12:40より経済同友会創立70周年の歴史映像を投影します）

会場は東京駅近辺を予定

対象：中学1～3年生、中学校の教員、中学生の保護者

参加費：無料



☆第1部：基調講演・定員150名（13:00～14:15）

講師：木 川 眞

ヤマトホールディングス 取締役会長

（経済同友会 副代表幹事/

人口・労働問題委員会委員長）

テーマ：「これからの時代に求められる人材像」



☆第2部：グループ・ディスカッション・・・定員100名 （14:25～16:25）

途中にティ・タイムを設けています

- 生徒グループ テーマ：「勉強するのは何のため？働くってどういうこと？」
- 教員グループ テーマ：「これからの社会で求められる力と教育のあり方」
- 保護者グループ テーマ：「これからの社会で求められる力と教育のあり方」



〔講師（予定）・五十音順〕

石渡 明美	花王 執行役員
海野 忍	NTTコムウェア 取締役相談役
木川 眞	ヤマトホールディングス 取締役会長
北川 太	テクノプロ・ホールディングス 執行役員
栗原美津枝	日本政策投資銀行 常勤監査役
齋藤 勝己	東京個別指導学院 取締役社長
島田 俊夫	CAC Holdings 取締役会長
高橋 秀行	ステート・ストリート信託銀行 取締役会長
多田 幸雄	双日総合研究所 相談役
中塚 晃章	ジャトコ 取締役社長兼最高経営責任者
中野祥三郎	キッコーマン 取締役常務執行役員
成川 哲夫	日本曹達 取締役
林 恭子	グロービス マネジング・ディレクター
林 礼子	メリルリンチ日本証券 取締役副会長
日色 保	ジョンソン・エンド・ジョンソン 取締役社長
日高 信彦	ガートナー ジャパン 取締役社長
日比谷 武	富士ゼロックス 顧問

ほか数名を予定

☆総括 （16:30～17:00） 17:00 閉会予定

申込方法

【お申し込みの流れ】

- 以下の事項に従って、「第12回教育フォーラム参加申込書」（第2部参加の方は「自己紹介シート」を含む）をファックスもしくは郵送にて、2月23日（金）までに本会事務局までご提出ください。
- 申し込み多数の場合には抽選とさせていただきます。なお、事前申込みの無い方は、当日ご参加いただけません。
- 必要事項に洩れがある場合には、受付できない可能性もございますので、ご注意ください。
- 参加者（代表者）には、後日参加証を郵送いたします。（3月初旬ごろ）参加証は当日受付にご提示下さい。

「第12回教育フォーラム参加申込書」のご記入について

- ①「第12回教育フォーラム参加申込書」の代表者の欄には、同行予定の教員の方、もしくは同行予定の保護者の方のお名前をご記入ください。
- ②用紙の欄を超える参加希望がある場合には、お手数ですが、参加申込書をコピーして、ご記入ください。
- ③当フォーラムは、講演およびグループ・ディスカッションの2部制になっており、第2部のみのご参加はできません。

「自己紹介シート」のご記入について

- ①第2部グループ・ディスカッションにご出席の方は、同封の「自己紹介シート」をご提出ください。
- ②「自己紹介シート」はお手数ですが、参加人数分をコピーし、お一人につき1枚のご記入をお願いいたします。
- ③ご記入いただいた『自己紹介シート』は、ディスカッションで使用させていただきます。
（当日のグループ内で共有予定）
- ④項目はすべてご記入いただき、空欄もしくは「特にない」という内容のものは受付できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

公開について

経済同友会活動に関する情報発信のため、本イベントの写真などを本会広報誌に掲載、WEB公開をいたします。また、当日は、メディア取材が入る場合もあり、参加者の顔写真の撮影および個別取材のお願いをする可能性もございます。参加者は撮影および公開に同意した上で、本イベントに参加するものとなりますが、同意できない場合には、必ず「参加申込書」の同意欄に「不可」のご記入をお願いいたします。

【本件お問い合わせ・提出物送付先】

〒100-0005 千代田区丸の内 1-4-6 日本工業倶楽部別館 5 階
公益社団法人経済同友会 「教育フォーラム」事務局
TEL：03-3284-0220 FAX：03-3212-3774

第11回教育フォーラム

勉強するのは何のため？
働くってどういうこと？

「学校と経営者の交流活動推進委員会」は、働くことの意義と教育のあり方について考える教育フォーラムを開催した。第1部では志賀俊之副代表幹事の基調講演と質疑応答が、第2部ではグループ・ディスカッションが行われ、講師と生徒たちが活発な意見を交わした。

開会挨拶



日比谷 武

学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長
(富士ゼロックス 顧問)

経済同友会では、持続可能な社会の実現を目指して、本日参加している中学生の皆さんをはじめとする若者たちが活躍する将来のあり方を考えています。

そこで大切になるのが、過去の歴史に学ぶことです。皆さんは学校で日本史や世界史を学んでいると思います。そうした歴史から多くのことが学べます。また、現在は急速に変化する世の中で、グローバル、デジタル、ソーシャルといったキーワードが重要になって

います。こうした言葉についても、よく学ぶことが大切です。「不易流行」という言葉があります。世の中の変化に対応すると同時に、変わらない本質を学ぶことも重要です。ぜひこうした姿勢で勉強を続けてください。

今日のフォーラムを通して、皆さんは多くのことを感じるでしょう。それを家に帰ってもう一度書き出して、折々に読み返して、今後の成長の糧にいただければと思います。

基調講演

好奇心が人生を楽しくする

講師：志賀 俊之

副代表幹事／資本効率の最適化委員会 委員長
(日産自動車 取締役副会長)

1953年和歌山県生まれ。76年大阪府立大学経済学部卒業後、日産自動車入社。2013年11月より取締役副会長。15年より産業革新機構 取締役会長(CEO)を兼務。



好奇心を持てば勉強が楽しくなる

私は子どもの頃から車が大好きで、「大人になったら自分も日産自動車に

入って、車を開発したり製造したりする仕事がしたい」と考えていました。しかし、自分がやりたいことをやるためには努力が必要です。私も日産自動

車に入るために一生懸命に勉強をしました。夢をかなえた人はみんな努力をしています。

皆さんは明確な夢を持っていますか。夢を持って、自分が好きなことを仕事にするために勉強する方が、モチベーションが向上します。ぜひ夢を持ってください。

また、勉強するときには好奇心を持つことが大切です。目の前のことに対して、「なぜそうなるのか？」と好奇心を持って追求すれば、勉強が楽しくなります。そして何かを学ぶときには、与えられた正解を覚えるのではなく、自分で考えて判断することが大切です。

変化の激しい時代だけに、常識にとらわれない自由な発想も必要です。ただ知識を詰め込むのではなく、好奇心と自由な発想を大切に勉強してください。



多様性を持ち人間力を磨く

社会は急速にグローバル化しています。そうした中では多様性が求められます。そのために必要なのは、自分の意見を持つことです。その上で、相手の意見を受け入れてください。そして、お互いの意見の違いについてよく話し合いながら、より良い答えを出すようにしましょう。そういう能力を持つ人

材が、これからの社会で活躍できるグローバル人材です。

また、人間力を高めることも大切です。これからは

AI、IoT、ビッグデータなどによって社会が大きく変化します。そこで求められるのは、人間にしかない教養や人間力です。皆さんにとっても、教養を身に付け、人間力を高めて、自らの魂を磨いていくことが重要になります。

志と自分とのギャップを埋める

これまでの日本はメンバーシップ型雇用で、会社に就職することが目的化していました。しかし、これからはプロフェッショナル型雇用が当たり前になり、自分自身の価値で勝負をしなければいけません。専門性を持ち、それを価値として磨いてください。

人間は、志がなければ成長しません。そして謙虚に、志と自分とのギャップを埋める努力を重ねることが大切です。そうやって自分の成長を実感するときに、人生で一番幸せな時間だと思います。成功と失敗を分けるのは、努力を続けたかどうかです。

好奇心を持って、夢の実現に向かって努力を続けてください。



講師自身の高校時代の体験を通して、夢を実現するために必要なものを学生たちに示した。

質疑応答

Q 人間力を高めるにはどうすればいいのでしょうか。

A 教養を身に付けることだと思います。教養とは雑学ではなく、自分を豊かにしてくれるものです。例えば、さまざまな本を読んで、そこに書かれた人生について考える。たくさんの経験をする。多くの人と話をする。そうしたことを通して、自然に教養が身に付くのではないのでしょうか。

Q 具体的な目標がない人はどうやって努力をすればいいのでしょうか。

A 何か挫折したことや、悩みはありませんか。それを克服するには、さまざまなことを学ばなければいけません。そうやって学び続けていくうちに、自然に具体的な目標が見えてくるものです。あるいは、憧れの人を見つけて、その人を目標に努力をするのもいいでしょう。

Q やりたいことがたくさんある人はどうすればいいのでしょうか。

A 一度に何もかもやろうとすると、どれも中途半端になってしまいます。とりあえず優先順位を付けて一

つずつやるようにしましょう。最初から高いレベルではなく、一歩ずつ前進するようにするとよいでしょう。一つのクリアがモチベーションになって、次の挑戦につながるはずです。



グループ・ディスカッション

学校生活から社会状況まで 自由闊達な議論が交わされた

第2部のグループ・ディスカッションでは、参加した生徒たちが講師を囲んで15のグループに分かれ、それぞれディスカッションを行った。最初は講師と生徒たちがお互いに自己紹介を行い、続いてさまざまなテーマについて語り合った。

講師たちが選んだテーマは、「幸せ



とは何か?」「キャリアについて」「グローバル化」「世界情勢とこれからの日本」「夢について」など多彩なもの。生徒にとって、あまりなじみのないテーマもあったが、講師が自身の経験を交えながら丁寧なサポートを行った結果、自由闊達な話し合いが行われた。

最初は緊張した表情の生徒が多かったものの、時間の経過とともに次第に打ち解けて生き生きとした表情になり、時には真剣に、時には和やかに話が弾んでいった。

また、二つの教員グループでは、急速に変化する現在の世界とそこで求められる人材や、学校におけるマネジメントなどのテーマについて討論が行われた。一方、保護者グループでも、子どもへの向き合い方などについて活発

な議論が交わされた。

いずれのグループも大きな成果があったようで、講師からは「予想していたより、はるかに活発な議論になり、政治から学校生活まで話題が広がった」「生徒たちはまじめに人生を考え、自分の言葉で、自分の考えを述べていた」「自分自身にとってもさまざまな気付きがあり、あらためて考える良い機会になった」「教員の皆さんと、企業経営、学校経営という異なる視点から議論できたことは非常に有意義だった」などの声が寄せられた。

参加者からも多くの声が寄せられ、特に生徒たちは講師や他校の生徒の多様な意見を聞くことで、多くの気付きがあり、今後の学校生活や人生における大きな指針となったようだ。

講師を務めた会員

(役職は開催時)



日比谷 武
富士ゼロックス
顧問



島田 俊夫
CAC Holdings
取締役会長



鈴木 雅子
ベネフィット・ワン
取締役副社長



高橋 秀行
ステート・ストリート信託銀行
取締役会長



昆 政彦
スリーエム ジャパン
取締役副社長執行役員



齋藤 勝己
東京個別指導学院
取締役社長



齊藤 剛
PwC あらた有限責任監査法人
執行役常務/パートナー



志賀 俊之
日産自動車
取締役副会長



中野 祥三郎
キッコーマン
取締役常務執行役員



生徒たちの感想

- 自分とは違う意見や考え方が聞けたのは、貴重な経験でした。おかげで、自分の考えが今までよりも深まったと思います。
- 信頼されるリーダーになるには、何が必要なのかを考えさせられました。今後の生徒会活動に存分に活かします。
- 普通学校では活発に意見を言えるようなタイプではなかったのですが、この機会を通じて少し克服できたような気がします。
- 「目標は具体的に持つ」というアド

バイスをいただきました。夢を実現するためには何が必要か。そこから逆算して行動したいと思います。

- 講師の先生が教えてくれた“Stay hungry, stay foolish”という言葉が印象に残りました。何でも貪欲に取り入れて、人に何といわれようとやり続けたいと思います。
- どんな場合でも、相手を否定しないこと、物事を論理的に考えることが大切だと分かりました。
- 好奇心を大切にすることが重要だと学びました。失敗を恐れずに、多くのことに積極的に挑戦したいと思います。
- すてきなキャリアを築くために、誇

りを持って努力できる職業を見つけることが大切だと分かりました。そのために何にでも挑戦したいと思います。

- 進路について悩んでいたのですが、講師の方が焦る必要はない、いろいろな道を考えた方がいいと言ってくさったので、将来に対する考え方が少し変わりました。
- 自分の言葉で自分の意思を表すことが大切であり、今の自分にはそれが足りないことが理解できました。今後はその能力を磨きます。
- 人それぞれ価値観は違いますが、他の人の価値観を理解し、受け入れることの大切さを実感しました。



林 恭子
グロービス
執行役員



日高 信彦
ガートナー ジャパン
取締役社長



古内 耕太郎
ポピズホールディングス
副社長執行役員 COO



栗原 美津枝
日本政策投資銀行
常勤監査役



小林 恵智
ヒューマンサイエンス研究所
理事長



成川 哲夫
新日鉄興和不動産
相談役



日色 保
ジョンソン・エンド・ジョンソン
取締役社長



松島 訓弘
電通
取締役



森田 均
マニライフ生命保険
代表執行役



山内 千鶴
日本生命保険
執行役員

＜開催にあたり＞

主催団体である公益社団法人経済同友会（代表幹事・小林喜光 三菱ケミカルホールディングス取締役会長 会員約1400名）は、終戦直後の1946年、日本経済の堅実な再建のため、有志83名が結集して誕生した経済団体です。企業の経営者が個人の資格で参加し、よりよい経済社会の実現や国民生活の充実のための諸課題に率先して取り組んでいます。2016年に創立70周年を迎え、現在、約1400名の企業経営者が活動しています。

経済同友会活動の一つである「学校と経営者の交流活動推進委員会（委員長・日比谷武 富士ゼロックス 顧問）」では、企業経営者が貢献できる具体的な活動として、「活力ある21世紀の日本社会を支えていく人材の育成・教育」のために、主に中学生・高校生を対象とした出張授業や、教員や保護者の方を対象とした研修会等の講師を務めるなど、学校現場との活発な交流活動を展開しています。

こうした活動の一環として、毎年3月に中学生を対象とした『教育フォーラム』を開催しています。本イベントでは、中学生を対象とした企業経営者による講演、および生徒や教員、保護者と企業経営者によるグループ・ディスカッションを実施しています。企業経営者の経験を踏まえ、これからの社会で求められる力と教育のあり方について、意見交換を行いませんか。

本イベントの参加費は無料で、中学生のみならず教員や保護者の方の参加も募集しています。本案内に記載の申込方法をご参照の上、2月23日（金）までに書類をご送付ください。定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。